

テスト時に何らかのテストデータを作成したい時には、 結合を使用します。仕様のには、結合するテーブルの条件で両方共データが存在する場合の行の一覧を取得しますが、**プログラミング的には特殊な目的**に利用する事になります。

この結合は、条件を指定しなければ、いわゆる となるので、**50件の社員マスタ**を自己結合させれば、**2500件のデータを作成**する事ができます。以下に社員マスタ(50件)を自己結合させて、**2500件の 片方の社員マスタの列を表示する SQL** を記述してください。

しかし、このままでは主キーが無い(本来の社員コードは重複してしまう)ので、**CREATE TABLE ... SELECT 構文**を使用して社員マスタと同じ列定義を持った社員テーブルを作成する SQL を記述してください

このテーブルに自動採番列(**SERIAL**)の **ROWKEY** という列を先頭に追加するSQL を記述してください

この際、自動的に ROWKEY という**ユニークなインデックスが作成されてしまいますが**、主キーを作成する為にこのインデックスを削除する必要があります。その際、ROWKEY 列が NOT NULL である必要があるので、**NOT NULL 制約**を付加する SQL を記述してください

ROWKEY インデックスを削除する SQL を記述してください

最後に、ROWKEY に**主キーを付加**する SQL を記述してください